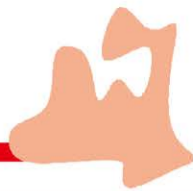


日赤あおもり



No. 406 2022.冬

青森県支部 日本赤十字社

日本赤十字社青森県支部 〒030-0861 青森市長島1丁目3番1号 TEL 017-722-2011 <https://www.jrc.or.jp/chapter/aomori/>

地域における防災力を底上げ

県内各地で防災セミナーなどを実施

青森県支部では、防災・減災への取り組みとして、本年度、日本赤十字社防災セミナー(以下、セミナー)の実施並びに「命を守る!防災教育推進事業(以下、防災教育推進事業)」(主催:青森県教育委員会)へ参画しました。

セミナーは、将来起こる自然災害に備えるため、一人ひとりの自助力と、地域における共助力を高めることを目的に、平成29年度より全国各地で実施しています。青森県支部では、本年度、県内4カ

所(県総合学校教育センター、沖館市民センター、藤崎町文化センター、県総合社会教育センター)を会場に防災セミナーを実施。施設に勤務する職員や地域住民などが参加し、災害への備えについて座学などを通して、住んでいる地域を知ることや災害から命を守るために必要な行動などについて、学びを深めました。

参加者からは、「知っていたようで、知らなかったことが沢山あった」、「まずは、できることから始めたい」といった感想が寄せられました。

また、参画した防



11月5日に実施された三厩中学校の防災訓練の様子

災教育推進事業は、本年度から3カ年、県内の6小中学校(外ヶ浜町立三厩中学校、深浦町立修道小学校、弘前市立石川小学校、三沢市立第三中学校、むつ市立川内小学校、八戸市立三条中学校)をモデル校に外部講師を活用した防災教育や、地域防災力の底上げを図るための地域と連携した防災訓練が実施されます。

そのうち、11月5日に三厩中学校で実施された防災訓練に、青森県支部では職員を派遣しました。一次救命処置やけが人の手当、搬送方法などを指導したほか、避難住民にコロナウイルス感染者がいることを想定した避難所受付でのアドバイ

スをしました。参加した生徒からは、「実際に胸骨圧迫をしてみると、とても大変だった」、「地域の方々や協力して避難所運営ができ、良かった」といった感想が寄せられました。青森県支部では、地震や大雨洪水

などの災害から身を守り、失われるいのちを一人でも減らし、「人間のいのちと健康、尊厳を守る」ため、セミナーを通じて、防災・減災に積極的に取り組みしていきます。セミナーに関するお問い合わせは、事業推進課まで

赤十字活動資金への

ご協力をお願いします。

赤十字運動が県内一斉にスタート

昨年度、多くの県民の皆様が赤十字活動にご賛同・ご支援をいただき、総額1億8390万5千円の赤十字活動資金(会費・寄付金)をお寄せいただきました。

おける防災・減災の知識・技術の普及強化や行政などと連携した地域での講習普及など、地域のレジリエンス(回復力)の強化に取り組んでいます。

お寄せいただきました活動資金のうち、1億1330万4千円を主に「苦しんでいる人びとを救うための費用」として活用しました。その内訳は、「国内外における救護活動」(国内災害対応のための訓練や災害救護装備の整備強化、国際活動、看護師養成など)として5045万9千円、「ボランティアや青少年の育成」(地域活動やボランティアなどの育成)として4860万1千円、「救急法などの普及」(保健医療や安全な暮らしのためなど)として1424万4千円です。

青森県支部では、これら赤十字活動のこともっと多くの県民の皆様が知っていただけるよう努力し、ここから賛同が得られるよう、今年も2月1日から「赤十字を支えるあなたの「ごから」」をスローガンに「令和4年度 赤十字会員増強・活動資金増収運動」を実施しています。県民の皆様からのあたたかいご支援を心よりお待ちしております。

会員増強・活動資金増収運動に関するお問い合わせは、総務課会員係まで

日本赤十字社は、「救いを託されている」団体として、災害や感染症で失われるいのちを守り、その苦痛を限りなく軽減するための活動のほか、平時からの地域や教育現場に

赤十字を支えるあなたの「ごから」

国民の皆さまの思いを「カタチ」にすることができました。この思いがより強固にあらわれたいと、心よりお願い申し上げます。

災害発生からわずか1週間程度経過後の被災地では、約80万世帯、約1000万人が被災しています。被災地では、被災者支援のための物資や食料の供給が困難な状況が続いています。被災地での活動は、被災者の生活の安定と、被災地の復興に大きく貢献しています。

青森県支部では、赤十字活動にご賛同いただいた皆さまの思いが、被災地での活動に届くよう、活動資金の増収運動を実施しています。活動資金は、被災地での活動に大きく貢献しています。

ご支援いただいた皆さまの皆さまへ、心より深く感謝申し上げます。一日も早く、それぞれの生活を再開することができるよう、青森県支部からも活動を続けてまいります。

赤十字活動資金へのご協力をお願いします。

誰かか欲しいという気持ち、誰の心の中にもある。けれど、自分の手では届かない。災害の現場で、救助活動ができるわけではない。どんなに心配でも、すぐに現場に駆けつけることはできない。「欲しい」、その思いを託されて、わたしたちは駆けつける。災害の現場で活動する。赤十字を動かしているのは、あなたの思いです。

救いを託されている。

赤十字会員・活動資金の募集に関するお問い合わせは

青森県支部 総務課 会員係
〒030-0861 青森市長島1丁目3番1号
TEL 017-722-2011
FAX 017-722-2012
E-MAIL meiji@jrc.or.jp
ホームページ www.jrc.or.jp

青森県支部からのお知らせ

令和4年度 赤十字会員増強・活動資金増収運動 実施中!

赤十字会員の加入、活動資金(会費・寄付金)のご協力をお願いします。

「ACTION! 防災・減災」キャンペーン

令和4年3月1日~3月31日

「#あなたの備えがみんなの備えに」キャンペーンを今年も実施!

青森県支部公式ソーシャルメディアを開設しました!

青森県内の赤十字関連の情報を中心に発信していきます。赤十字の輪を広げるために、皆さんフォローをお願いします!

<https://twitter.com/nissekiaomori>
<https://www.facebook.com/nissekiaomori>
https://www.instagram.com/nisseki_aomori/



Twitter



Facebook



Instagram



災害の備えを万全に

～(株)白鳥プロパンがガス圧調整器と配管部材を寄贈～

株式会社白鳥プロパンより、災害用移動炊飯器のガス圧調整器及び配管部材(ホース)が寄贈されました。

同社は、寄付を通じてSDGsで定める17のゴールに貢献することができる“しんぎんSDGs私募債「ちいきのミライ」(取り扱い、青い森信用金庫)”を発行し、寄付先として青森県支部を選択されました。

10月28日、株式会社白鳥プロパンの白鳥五大 代表取締役社長、青い森信用金庫 西地区本部長 相馬常勤理事、青森営業部 松岡部長が青森県支部を訪れ、この度の寄付にかかる目録の贈呈式が行われました。

寄贈された災害用移動炊飯器のガス圧調整器及び配管部材(ホース)は、青森県支部が県内40市町村に配置している災害用移動炊飯器の部品として取付けられ、有事の際の炊き出しや防災訓練などに活用されます。



目録を手渡す (株)白鳥プロパン 白鳥代表取締役社長(左)

指定自動車教習所業の発展に貢献

～(一社)全日本指定自動車教習所協会連合会が感謝状を贈呈～

一般社団法人 全日本指定自動車教習所協会連合会より、感謝状が贈呈されました。

長年、青森県支部では自動車教習所の職員に対し、心肺蘇生やAEDを用いた除細動の一次救命処置などの救急法講習を実施しており、この度、指定自動車教習所業の発展に特段の功労があったとして、同会の60周年を記念し表彰されました。

「人間の苦痛を予防・軽減し、生命の尊厳を確保する」という理念のもと、これからも安全法講習の普及に努めて参ります。



贈呈された感謝状を手にする支部職員

県内 Topics

メンバー自身が確かに成長を実感

～青少年赤十字高校リーダー研修プログラムを開催～

青森県支部では、1月5日から7日の3日間、青少年赤十字活動のリーダーに求められる意欲、知識、技術を養うことを目的に「令和3年度 青少年赤十字高校リーダー研修プログラム」を開催しました。

1日目と2日目はオンライン(Zoom)で参加メンバーを繋ぎ、国際人道法や難民問題、リーダーシップについて学び、メンバー同士が議論を交わしながら理解を深めました。

そのほか、2日目には、今年度、新型コロナウイルスの影響により中止となった青森県高等学校総合文化祭青少年赤十字部門の体験発表が行われ、青少年赤十字活動に対する熱い思いが発表されました。

最終日の3日目は、青森県支部に集合してワークショップを実施。コロナ禍でも自分達ができる活動について具体的に考え、実現に向けたそれぞれの計画が発表されました。

研修を終え、生徒達からは「活発に意見を述べる事ができた」、「他校の人達と交流できたことが嬉しかった」、「研修内容を通して赤十字への理解が深まった」などの感想が寄せられました。本プログラムを通してメンバーそれぞれが自分達の成長を感じ取っていたようです。



指導スタッフからのアドバイスに耳を傾ける参加メンバー

人びとのいのちと健康、尊厳を守る活動のために

～第一生命保険(株)が活動資金を寄付～

第一生命保険株式会社より、活動資金が寄せられました。

この度の寄付は、同社子会社である第一スマート少額短期保険会社等が実施した「エッセンシャルワーカー応援ほけん」プロジェクトの主旨に賛同された同社が、青森県支部に対してのマッチング寄付による寄付を行ったものです。

11月26日、第一生命保険株式会社青森支社の加藤秀俊 支社長、甲斐登喜雄 次長が青森県支部を訪れ、この度の寄付にかかる目録の贈呈式が行われました。

寄せられた活動資金は、災害時における救護活動をはじめ、「人びとのいのちと健康、尊厳を守る」赤十字活動に充てられます。



目録を手渡す 第一生命保険(株)青森支社 加藤支社長(左)

“知る、見る” 赤十字

いっしょに乗り越えよう。また、笑顔になるために。

日本赤十字社は、日赤の若い世代の職員やボランティアから、コロナ禍で大切だと思うこと(大切にしてほしいこと)を同世代に伝えるため動画を製作。2月1日より期間限定で特設サイトを開設しました。

特設サイト内の動画は、「WebCM」と、幅広い事業の職員やボランティアの「自撮り動画」で、「WebCM」のナレーターとして、上白石萌音さんが出演しています。

更なる感染拡大の防止に繋げるためにも是非、ご覧ください。

特設サイト(令和4年2月1日～4月30日まで) <https://www.jrc.or.jp/lp/egaoninarutameni/>



赤十字ネットワークニュース

義援金は、災害により生命・財産に大きな被害を受けた方々に対し、被災者の当面の生活を支えることを目的としています。受け付けた義援金は被災された方々に迅速かつ公平に配分されます。現在受付中の国内災害義援金と受付期間は以下のとおりです。

- 令和3年長野県茅野市土石流災害義援金 2022年3月31日(木)まで
 - 令和3年8月大雨災害義援金 2022年3月31日(木)まで
 - 令和2年7月豪雨災害義援金 2022年3月31日(木)まで
 - 平成30年7月豪雨災害義援金 2022年6月30日(木)まで
- ※受付期間までにご入金いただけますようお願い致します。

献血にご協力くださる皆さまへ

献血のご協力にあたり以下の事項についてご確認くださいませよう、よろしくお願いいたします。

1 献血の条件について

採血の種類	全血採血		成分採血	
	200mL	400mL	血漿	血小板
1 回採血量	200mL	400mL	600mL以下(循環血液量の12%以内)	
年齢	16～69歳	男性:17～69歳 女性:18～69歳	18～69歳	男性:18～69歳 女性:18～54歳
	ただし、65～69歳の者については、60歳に達した日から65歳に達した日の前日までの間に採血が行われた者に限る。			
体重	男性45kg以上 女性40kg以上	男女50kg以上	男性45kg以上 女性40kg以上	
最高血圧	90mmHg 以上 180mmHg 未満			
最低血圧	50mmHg 以上 110mmHg 未満			
脈拍	40回/分以上 100回/分以下			
体温	37.5℃未満			

2 献血をお受けできない基準について(一例)

- ①輸血や臓器移植を受けたことがある。
- ②3日以内の出血を伴う歯科治療や服薬(献血可能なお薬もございますので、お薬名をお知らせください。その場でお調べいたします)。※血圧、高脂血症、高尿酸値等の生活習慣病の薬は問題ございませんが、体調等を含め、当日の検診医が判断させていただきます。
- ③24時間以内のインフルエンザ予防接種や海外から4週間以内の帰国。

3 献血のお願い

- ①空腹時の献血は体調不良を起こしやすいため、できましたら食事の摂取をお願いします。
- ②献血後の激しい運動やサウナは、危険ですのでお控えください。
- ③献血カードを持参していない方は、運転免許証等の本人確認できる証明書をご用意ください。

献血ヒーロー募集中!

患者さんのいのちを助けるためにあなたの血液を分けてあげてください。

献血ってな～?

日本では病気の治療や手術などで1日に約3,000人が輸血を必要としています!

手術

事故

病気の治療

出産

献血へのご協力をお願いします!

あなたの方を待っている方がいます

献血しなさい! みんなのヒーロー!

新型コロナウイルス感染症対策 実施中

献血に関するお問い合わせは、青森県赤十字血液センター 献血推進課まで ☎017-741-1512

献血は“16～69歳まで可能です!”

※65～69歳までの方は、60～64歳の間に献血経験のある方に限ります

献血ルーム ■全血献血/9:30～12:30、13:45～17:00
 受付時間 ■成分献血/9:30～11:50、13:45～16:20
 ※青森献血ルームの受付時間は、全血・成分献血とも9:15～(10月1日から変更)

- 青森献血ルーム ☎ダイヤル0120-649-489 青森市長島1丁目3番1号 日赤ビル4階
- 弘前献血ルーム「CoCoSA(ココサ)」 ☎ダイヤル0120-768-489 弘前市駅前町8-1 大町タウンビル2階
- 青森県赤十字血液センターホームページ <https://www.bs.jrc.or.jp/th/aomori/index.html>

